新野高校 2016 年度の活動予定

1 人権教育課の目標

- 人権教育を全ての教育活動の中で推進し、同和問題をはじめ、様々な人権問題の解決に取り組む意欲・態度を身につけさせる。
- 人権意識の高揚を図るとともに、自分や他の人を大切にし、支えあう仲間づくりを進め、いじめ問題等の防止に努める。

2 本校の取り組み（生徒の活動）

- (1) 人権学習ホームルーム活動 年 7 回 道徳学習ホームルーム活動 年 1 回
- (2) 人権教育講演会「スマホ・ケータイ安全教室」 4 月 18 日(月)
NTTドコモ
「性同一性障害を乗り越えて～自分らしく生きる～」 7 月 14 日(木)
NPO 法人 Japan GID Friends 代表 清水展人さん

(3) 校内意見発表会（本年度 12 月に年次ごとに予定）

昨年度は、各クラス 2 名の代表者が、自分の思いや社会問題に対する考え方、体験・経験したことを自分の意見として発表しました。運営も人権委員を中心に行いました。

自分の生活環境や家族のこと、人権教育講演会を聴いて感じたこと、高校生活の中で大切だと思ったこと、校外活動を通じて学んだことなど、充実した内容になりました。

異なる視点から捉えた数多くの考え方を聴き、人に伝えることの大切さを学び、共に考えるいい機会となりました。

3 生徒の活動

(1) 「すだちの会」（部活動）

生徒会活動の一つとして行われていた部落問題研究会が、1985年（昭和60年）に名称を「すだちの会」として再スタート。『もっと公に、積極的に活動すべきだ』という生徒の声をきっかけに、徳島県の「スダチ」と、雛が「巣立つ」という思いを込め、「すだちの会」と命名されました。

「中・高生による人権交流事業」交流集会に向けて、南部ブロックでの生徒部会に積極的に参加しています。また、阿南市内の高校・高専・特別支援学校の生徒や中学生、保護者、先生、OBの方々等と一緒に、『身元調査お断りワッペン運動』にも参加しています。

(2) 中・高生による人権交流集会

(3) 「身元調査お断り」ワッペン啓発活動

(阿南市人権教育協議会高校・高専・特別支援教育部会)

(4) 生徒会人権委員会 整備委員と合同で考査前の「落書き消し活動」の実施

各クラスの人権委員と整備委員が協力して、定期考査前に教室の落書き活動を行っています。テストの不正行為を防ぐためだけでなく、その席に座った人が嫌な思いをしないように、人権侵害につながらないようにとの思いを込めて、メラニン樹脂製スポンジを使って落とします。

(5) 「**新高祭**」人権作品展示

夏休みの宿題になる人権ポスター、書道などの作品を展示します。

(6) 「人権だより」の発行 昨年度3回発行 ホームページに掲載

4 「新野町内転入教職員人権教育研修会」

新野町内にある保育所・幼稚園・小学校（2校）・中学校・高等学校の新転入者を対象に毎年実施しています。新野町内の人権教育の取り組み、歴史（同和教育・人権教育）、現状などについての研修を行います。

本年度：校内意見発表会や委員会活動の活発化をめざします